

北本市の軌跡

ひとと、まちと、ともに。

水とともに生まれた人々の暮らし。

やがて人が集まり、行き交い、語り合い、まちとなりました。

先人たちの足跡が今に伝えるものは、きっと未来への道標。

軌跡をともに辿りましょう。

▶ 原始・古代

市内に人が住み始めたのは、今から約3万年前の旧石器時代のこと。氷河期が終わって縄文時代が幕を開けると、デーノタメ遺跡で巨大集落が営まれ、約1,500年間もの長期にわたって継続しました。古墳時代には集落が増加し、地域の首長が荒川沿岸に古墳群を形成するようになり、奈良・平安時代には仏教が伝わります。



▶ 中世・近世

鎌倉時代には御家人の石戸氏が石戸宿に館を構え、承久の乱に参戦します。南北朝期を経て、戦国期に石戸城が築かれると、永禄6(1563)年には上杉謙信が雪の上越国境を越えて一時城主となりました。江戸時代には徳川家康や家光が鷹狩の際に休息した御茶屋御殿が営まれたほか、荒川の舟運や中山道の往来が盛んになります。



▶ 近代・現代

明治16年に鉄道が開通すると、舟運は衰退。昭和3年に北本宿駅が開設され、各村が農業倉庫を設置し、現在の街区が形成され始めます。昭和18年に中丸村・石戸村が合併して北本宿村になりました。高度成長期頃から都市近郊のベッドタウン化が進み、昭和34年には町制、同46年には市制が施行され、北本市が誕生しました。



北本の地名の由来

江戸時代の初め、市内の中山道には宿場が置かれていましたが、ほどなく現在の鴻巣へ移転しています。このため、宿場のあった地は本鴻巣村から本宿村となり、2か所に立場が残りました。その後、昭和18年には石戸村と中丸村が合併して北本宿村となり、昭和34年の町制施行時には「宿」の文字をとり、呼びやすい北本町に変更されたのです。



石に刻まれた「元鴻巣村」銘



本鴻巣村の位置(正保)

昭和3年

- 5月 石戸トマトクリームが、御大礼博覧会で優良国産賞を受賞
- 8月 高崎線北本宿駅営業開始

昭和16年

- 3月 多聞寺のムクロジが県天然記念物に指定

昭和18年

- 2月 石戸村と中丸村が合併、北本宿村誕生

昭和25年

- 6月 駅前に北本宿村役場を新築

昭和27年

- 7月 高崎線が電化され、電気機関車が走る

昭和34年

- 11月 町制施行により北本宿村を北本宿町とし、名称変更により北本町誕生

昭和36年

- 3月 北本宿駅が北本駅に改称される

昭和37年

- 5月 大宮～鴻巣間の国道17号が開通

昭和38年

- 4月 現在地に町役場庁舎が完成

昭和39年

- 7月 北本町・鴻巣市・吹上町・菖蒲町・川里村で北本地区衛生組合を設立
- 10月 オリンピック東京大会の聖火が町内を通過

昭和40年

- 8月 町章が制定される

昭和46年

- 4月 北本市で初めての保育園、中央保育所開所
- 9月 日本住宅公団北本団地第一次入居開始
- 11月 市制施行により、北本市誕生

昭和48年

- 1月 北本市の歌、北本音頭ができる

昭和49年

- 7月 子供公園が開園
- 8月 市立図書館が開館

昭和50年

- 4月 県立北本高等学校が開校
- 4月 北本駅西口広場が完成

昭和52年

- 10月 北本駅橋上駅舎が完成
- 11月 市の木「桜」、市の花「菊」を制定

昭和53年

- 12月 老人福祉センターが開館



昭和54年

- 2月 人口5万人となる
- 6月 防災行政無線スタート

昭和56年

- 11月 市民憲章制定、北本市社会福祉協議会を設立

昭和57年

- 5月 荒井橋が永久橋として開通

昭和59年

- 3月 埼玉中部環境センター完成
- 4月 中央公民館と中央図書館の複合施設、文化センター完成
- 4月 あすなろ学園(知的障害者通所授産施設)開所

昭和61年

- 11月 第1回北本まつり開催

昭和62年

- 5月 北本総合公園・荒井公園テニスコート完成
- 6月 人口が6万人となる

平成元年

- 4月 北里研究所メディカルセンター病院開院

平成2年

- 9月 シルバー人材センターを設立

平成3年

- 6月 体育センターが開館
- 10月 福島県河沼郡会津坂下町と姉妹都市を提携

平成4年

- 7月 北本自然観察公園が開園

平成5年

- 6月 総合公園野球場がオープン

平成6年

- 8月 人口が7万人となる

平成7年

- 6月 高尾さくら公園が開園

平成8年

- 3月 第1回さくらまつりを開催
- 4月 常備消防の広域化(埼玉県央広域事務組合)

平成10年

- 7月 野外活動センターのキャンプ場が開園

平成13年

- 10月 北本っ子未来への誓い「北本市児童憲章」を制定

平成14年

- 4月 駅西口ビルが完成

平成15年

- 5月 地場物産館「桜国屋」が開館

平成17年

- 9月 高尾宮岡ふるさとの緑の景観地が県の緑のトラスト保全第8号地に決定

平成19年

- 1月 市民大学きたもと学苑を設立
- 11月 北本トマトイメージキャラクターとまちゃん誕生



体育センター竣工式典
(平成3年)



桜国屋「地場物産館」開館
(平成15年)



荒井橋が永久橋として開通
(昭和57年)



第1回さくらまつり
(平成8年)



児童館・こども図書館オープン
(平成26年)

広報きたもとで財政状況伝えるマン
(全国広報コンクールで2部門入選)
の特集
(平成28年)



シティプロモーションコンセプト
「&green」誕生
(令和2年)



「グリコピア・イースト」開館
(平成24年)

ともに守り、つなぐ未来へ

北本市は令和3年11月で50周年を迎えました

平成21年

- 9月 北本市自治基本条例を制定

平成22年

- 3月 圏央道「桶川北本インターチェンジ」が開通

平成23年

- 4月 デマンドバス本運行開始
- 11月 北本トマトカレーが誕生

平成24年

- 4月 新東保育所が開所
- 4月 関東グリコ株式会社北本ファクトリー本格稼働開始

平成25年

- 10月 市役所新庁舎I期工事完了、新庁舎で業務一部開始
- 12月 新駅建設の賛否を問う住民投票を実施

平成26年

- 10月 市役所新庁舎II期工事完了、新庁舎で業務全部開始
- 11月 児童館・こども図書館オープン

平成27年

- 3月 市役所新庁舎関連工事が全て完了
- 10月 圏央道桶川北本ICから白岡菖蒲IC間開通

平成28年

- 9月 デーノタメ遺跡が縄文時代中期において関東最大級の環状集落であると発表される
- 11月 北里大学特別栄誉教授、大村智博士に市民栄誉賞を贈呈
- 11月 広報きたもとで財政状況伝えるマン(全国広報コンクールで2部門入選)の特集

平成31年

- 1月 北本駅東口駅前市有地に市内初の宿泊施設「ザ・セレクトン北本駅前」オープン
- 4月 森林セラピー基地の認定を取得(埼玉県内初)

令和元年

- 5月 北本トマトカレーが横須賀カレーフェスティバル全国ご当地カレーグランプリで優勝

令和2年

- 1月 シティプロモーションコンセプト「&green」誕生
- 2月 アルジェリアのホストタウンとして登録
- 4月 アルジェリアの共生社会ホストタウンとして登録
- 11月 「北本市パートナーシップ宣誓制度」を開始

令和3年

- 11月 市制施行50周年